

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	社会福祉法人 神原苑 神原障害児デイサービスセンター		
○保護者評価実施期間	令和6年12月1日 ～		令和6年12月1日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30	(回答者数) 14
○従業者評価実施期間	令和6年12月1日 ～		令和6年12月1日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数) 13
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7 年 2 月 12 日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	療育的支援の充実	・利用者一人一人に合わせた個別療育を保護者と話し合い、目標及び課題を設定し取り組んでいる。 ・集団療育として、毎日、帰りの会を行っている。また、長期休暇時は、作業活動、園芸活動、清掃活動、表現活動に取り組んでいる。	・毎日の朝礼、毎月の療育会議にて、個々の課題や療育活動内容の検討、見直しを行っている。 ・療育活動を参考にできるよう、就労支援事業所や学校等への見学を研修に取り入れている。
2	各関係機関と情報共有を密に行っている。	・必要に応じて、相談支援員や学校、行政、他事業所等と情報共有を行い、相互理解に努めている。また、支援の統一を図っている。	・相談支援員の施設見学の実施、問題発生時は行政や他事業所とも連携を取り、情報共有を図っている。
3	日々の利用者の様子を保護者に伝え、情報共有を行っている。	・苑内での利用者の少しの変化、気になること等を保護者に伝えている。また、保護者からも気になることや悩み等があれば口頭や連絡帳にて職員に伝え、職員間で日々の申し送り時に伝え情報共有を行っている。	・日々の申し送り時や半年ごとのモニタリング等を活用し、保護者と話をする場を設け、情報共有に努めている。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・第三者による外部評価がない。	・法人本部が取り入れていない。	・今後、要検討。
2	・地域の放課後児童クラブや児童館との交流、地域の他のこどもと活動する機会がない。	・学校終了後や、長期休暇時のスケジュールにおいて施設外に出る時間を設けることが難しい。	・スケジュールの調整、地域資源の把握等が必要となるため、今後、要検討。
3			